



石川台中学校のSDGs

～持続可能な開発目標～

校長 小菅みちる

ある日の放課後のこと。3階の廊下に展示されている美術作品（銅板レリーフ）を見ていたら、何人かの2年生女子が話しかけてきました。話しているうちに、その中の一人が、

「校長先生、石中の制服を変えた方がよくないですか？」と言うのです。そこで、なぜそう思うのかと尋ねると、

「今年から女子のズボンがOKになりましたけど、このノーカラーのブレザーの下にズボンって、やっぱり不自然じゃないかと思うんです。ズボンの人の中にはきっといろんな事情があってズボンにしてるわけですよ。それなのに見た感じで浮いちゃったりするのはおかしいと思うんですよね。」

私は、生徒の口からこんな発言があるとは思わなかったのでビックリしました。以前からジャージを変えてほしい、という生徒の意見があることは知っていました。あの派手な水色に抵抗感があるらしいです。（石中ジャージの水色は、とても目立つので、私たち教師にとっては安全管理上とても役立つのですけど）でも今日の発言は、単に「制服がカッコ悪いから変えてほしい」ということではなさそうです。

「石中の制服は伝統があるんだけどな。」そんなふうに言いましたら、「そうかもしれないんですけど…。男子の学ランだって、このままでいいとは思えないんですね。」と、彼女は男子の詰襟についても語りはじめました。

「今はいいですよ、今は。でも、男子でスカートを履きたいって人が出てくるかもしれないじゃないですか。そうなったら困りません？これから先のことを考えるとある程度同じような感じにするとか、考える必要があると思うんです。」

なるほどなるほど。色々考えてるんだなと、私は感心しました。彼女の話の中には、ジェンダーフリーとか、LGBTQといった言葉はありませんでしたが、これからの石川台中について、真面目に考えていることは伝わってきました。

「そうか！石川台中のSDGsを考えてくれてるのね！」と私は言いました。

「聞いたことないかな？SDGs。持続可能な社会を作っていくないとね。いま、話してくれたのは石川台中のこれから先のことを考えてくれてるからでしょう？持続可能な石川台中でないとダメだよね。」そう私は言いました。

SDGsとは、「持続可能な開発目標」という意味の英語 Sustainable Development Goals の略のことです。「持続可能」というのは「今だけでなく、ずっと続けていくことができる」ということ。国や企業だけでなく、私たちもまた、これらの目標について考えたり、話し合ったり、自分以外の人や地球を大事にして生活していくことが大切です。

私の言葉を聞いた生徒たちはちょっと???という顔をしましたが、すぐに気を取り直して、みんな口々に、

「SDGs、聞いたことある！」「そうそう、これから先のことを考えないと！！」「そう考えると男女ともブレザーガいいんじゃない？」「女子の制服はリボンがある方がいい～」「ネクタイの方がいいでしょ」「男女平等とか考えたらネクタイじゃない？」「色はどうする？やっぱ赤でしょ」「男子もつけるんだったら青の方がよくない？」「いや、選べるようにするのが一番いい！」などと、色々な意見を出し、楽しそうに会話を続けていました。

「じゃあまた、話しましょう。」私はそう言って、その場を後にしました。

生徒の考えを、形にしていくのが学校だと私は考えています。生徒は実におもしろい発想をもっていたり、突飛なことを思いついたりします。ただ、子どもはどうしても独りよがりだったり、自分本位でものを言ったりします。そこで、それを軌道修正するのが大人の、そして教師の仕事になります。今回の会話も、すべてがプラスの言葉ばかりだったわけではありません。でも、SDGs という言葉を知り、その場にいた生徒がみんな「これから先の石中」を意識して会話をしている。一人の生徒の発言が、いままさに世界で取り組んでいることに発展しているわけです。こんなすてきな場面に遭遇できて、私はとてもうれしく思いました。

保健だよりにもあるように、健康委員会では 11 月に「給食オリンピック」と称して、全校での食べ残し〇に取り組んでいました。これも石中の SDGs といえるでしょう。事務室前の廊下にはポスターが掲示されています。小さなことでも、自分たちができる事をしていくために。

実はこの話には続きがあって、その後2~3日したときに、同じメンバーと廊下で会いましたら、

「校長先生、私、制服のデザイン考えました！」と言ってきた生徒がいました。「制服の変更は色々検討しなくてはならないから、すぐにできない」と伝えていたにもかかわらず、です。彼女いわく、「自分たちの代で変わらなくたって、後輩に伝わればいいんですよ！」と。私が「持続可能な石川台中だね。」と言うと、他の生徒たちも「そうですよそうですよ！」 「SDGs ですよ！」「持続可能な開発目標ですよ！」「目標の5番ですよ、5番！！」「ジェンダー平等です！」などと口々に言っています。その元気のいいことといったら！

「調べたの？」と私が聞くと、みな一斉に「調べましたよ！」と明るく答えていました。彼女たちの目はとてもキラキラ輝いています。そのとき私は、生徒の確実な成長を感じました。今後また彼女たちと話をするのが楽しみです。

石川台中学校は令和6年度に開校 70 周年を迎えます。次の時代へ向けて、石川台中の SDGs がはじまっています。

連合球技大会 全員で頑張りました！！

11月22日（火）大田区総合体育館にて連合球技大会（種目 バスケットボール）が開催されました。1・2年生C組 9人全員で試合に臨みました。石川台中は1・2年生だけのチームですが、練習の成果を発揮することができ、3年生のいるチームを相手に、とてもよく頑張りました。来年に向けて、すでに練習方法などを検討している様子でした。チームワークも素晴らしかったです！！保護者の皆様も応援ありがとうございました。



◎表彰の記録◎

◆薬物乱用防止作品表彰 10/29

薬物乱用防止ポスター「東京税関 羽田税関支署長賞」
2年生

薬物乱用防止標語 「大田区保護司会 会長賞」
2年生

◎標語 「薬物は 命の期限 けずること」

◆バドミントン部 令和4年度大田区中学校バドミントン新人大会 10/23
男子ダブルス 第3位

◆バドミントン部 令和4年度大田区中学校バドミントン新人大会 10/30
女子シングルス 第3位

◆大田区立中学校教科作品展覧会 出品者 11/11

1年生「心にうかぶイメージ」 16名

1年生「水墨画」 6名

2年生「銅板レリーフ」 12名

2年生「ピクトグラム」 10名

3年生「ドライポイント」 9名

3年生「扇面画」 13名

◆令和4年度中学校連合学芸会（英語の部） 11/2
51st annual English Entertainment 2年生
「What I Like the Most」

51st annual English Entertainment 2年生
「Difference between Indonesia and Japan」

◆第36回はばたきテニス大会 11/5
はばたきクラス ダブルス 第3位 2年生
(主催 東京都障害者総合スポーツセンター)

◆令和4年度中学校連合学芸会（音楽の部 合唱） 11/7
有志合唱（Nコン出場者） 合唱曲名「Replay」

◆令和4年度中学校連合学芸会（演劇の部） 11/11
演劇部 作品名「夏桜」

